

平成19年11月26日  
新潟市役所契約課

## 質 疑 回 答 書

- 1 工事番号 東下第45号  
2 工事名 木戸排水区雨水貯留施設築造工事

上記工事につきまして質疑事項がありましたので、下記のとおり回答いたします。  
(本案件は、電子入札ではありませんので、全業者にFAXいたします。)

質 疑 事 項	回 答
1 配置技術者の実績について、工期の内どの程度の期間従事していれば、実績として取り扱いますか。	・配置技術者の実績としては、その工事の主たる部分を施工した期間（今回につきましては、シールド・推進工事を施工した期間）の概ね6割の期間を、現場代理人・主任技術者・監理技術者として従事したという証明（コリンズ・施工体制台帳・工程表等）があれば、実績として認めます。

## 質 疑 回 答 書

- 1 工事番号 東下第45号  
2 工事名 木戸排水区雨水貯留施設築造工事

上記工事につきまして質疑事項がありましたので、下記のとおり回答いたします。  
(本案件は、電子入札ではありませんので、全業者にFAXいたします。)

質 疑 事 項	回 答
<p>1 設計図書の中には、<u>参考図</u>が多く含まれています。この取扱について御教授願いたい。</p> <p>すなわち、求められる性能・機能を確保した上で<u>参考図</u>に記されたものを変更できることを前提として入札金額に反映してもよいものか。もしくは、契約後に協議の上、初めて変更することが可能になるものか。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 特記仕様書にも明記してありますが、参考資料は、請負契約上の拘束力を生じるものではありません。 請負者が施工条件、地質条件等を十分に考慮して、仮設、施工方法、安全対策等工事目的物を完成させるための一切の手段について請負者の責任において定めることとなっております。</li><li>・ 設計図書に変更が生じる場合は、契約後に協議を行い必要があれば変更を行います。</li></ul>

## 質 疑 回 答 書

- 1 工事番号 東下第45号  
2 工事名 木戸排水区雨水貯留施設築造工事

上記工事につきまして質疑事項がありましたので、下記のとおり回答いたします。  
(本案件は、電子入札ではありませんので、全業者にFAXいたします。)

質 疑 事 項	回 答
<p>1. 土質調査について 事前の土質調査工は何m（何箇所）あるのか教えて下さい。</p>	<p>・ 土質調査箇所は、全部で17箇所です。また、ボリング長は h = 50m 2箇所 h = 25～43m 15箇所</p>
<p>2. シールド工事（裏込め注入工法）について 裏込め注入方式について、即時注入工法と特記仕様書に書いてありますが、即時注入工法とは、トンネル標準示方書（シールド工法編）・同解説の裏込め注入の解説で記載されている注入時期の即時注入と判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>・ そのように判断してください。</p>
<p>3. シールド工事（裏込め注入材料）について 特記仕様書に裏込め注入材について即時注入工法と記載されていますが、裏込め材は1液タイプか2液タイプか教えて下さい。</p>	<p>・ 1液です。</p>
<p>3. シール材について 特記仕様書に水膨張ゴムの全周貼りとありますが、シール材の規格等、特に指定するものがあるかどうか教えて下さい。</p>	<p>・ 特に指定はございません。</p>

<p>4. 交通保安要員について 特記仕様書に交通保安要員について配置人員が人／日で記載されていますが、昼間だけの配置と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>5. No.1 立坑作業ヤードについて No.1 立坑作業ヤードに建っている建物の撤去時期について教えてください。</p> <p>6. No.2 立坑作業ヤードについて No.2 立坑作業ヤードで駐車場として使用している車について、移動完了時期は何時でしょうか。</p>	<p>・よろしいです。</p> <p>・H20. 5月を予定しております。</p> <p>・工事の進捗状況によりますが、H21年度以降と考えております。</p>
--	--

-----  
 ※ FAXが届きましたら、切り離したりせず、このページのみ直ちに返信してください。

FAX 025-225-3500 (あて先) 新潟市契約課工事契約係  
 質問回答書を受領しました。

業 者 名

住 所

商号又は名称

代 表 者

電 話 番 号

(担当者名

)

## 質 疑 回 答 書

- 1 工事番号 東下第45号  
2 工事名 木戸排水区雨水貯留施設築造工事

上記工事につきまして質疑事項がありましたので、下記のとおり回答いたします。  
(本案件は、電子入札ではありませんので、全業者にFAXいたします。)

質 疑 事 項	回 答
1. φ5,000 シールド急曲線部及び開口補強部のセグメントは、鋼製セグメントを使用し、二次覆工をするようになっていますが、分岐部と同様にコンクリート中詰め鋼製セグメントを使用することは出来ないでしょうか。同様に、φ2,400の開口補強部についても、コンクリート中詰め鋼製セグメントを使用出来ないでしょうか。	・ 経済比較にて決定しており、使用する際には協議の上、施工承認として使用することは可能です。
2. シールド掘削残土は固化材により改良後、一般残土として指定の受入施設である改良土製造プラントに運搬すると考えてよろしいでしょうか。その際の受入費用は工事価格に含まれるのでしょうか。	・ 別途工事現場で使用予定ですので、親松仮置場までの運搬費を計上しております。
3. 立坑掘削残土は仮置場へ運搬後、親松ストックヤードへ運搬となっておりますが、水中掘削残土でも受入可能でしょうか。	・ 水中掘削残土は、十分な水切りを行った状態で、良質土であれば、受け入れ可能です。
4. 数量計算書に裏込材料はモルタルとなっておりますが、その材料と同等なグラウト材を使用してもよろしいでしょうか。	・ 裏込め、削泥材については、同等以上の材料であれば、よろしいです。

<p>か。また、数量計算書の総括表の中に作 泥材の配合が規格化されて記載されてい ますが、その他の配合・材料を使用し てもよろしいでしょうか。</p> <p>5. 内訳書で泥土圧シールド坑内整備工 配管整備工では配管損料が一式となっ ており、数量計算書では給水管、配水 管コンクリート打設用配管のみが記載 されています。裏込配管、加泥材配 管、土砂圧送配管は一次覆工機械損料 に計上すればよろしいでしょうか。</p> <p>6. 内訳書に 200 m<sup>2</sup>の借地料が記載され ていますが、目的と場所を教えてください。 また現場事務所の敷地は発進基地内 にはスペースがないようですが、請負者 で手配すると考えるのでしょうか。</p> <p>7. 数量計算書 総括表 管渠工 機械 器具損料で圧送方式とありますが、シー ルド残土の坑内運搬方法の規格というこ とでしょうか。圧送方式以外の運搬方法 でもよろしいのでしょうか。</p> <p>8. 特記仕様に分岐後φ5,000 とφ2,400 を同時に施工するとありますが、工程上 問題なければφ5,000 貫通後、φ2,400 の掘進をスタートさせてもよろしいで しょうか。</p> <p>9. 急曲線及び分岐部の補助工法につい て図面・数量計算書に記載がありません。 施工後、必要となった場合は設計変 更の対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積算基準の通り積算を行ってください。ただし、土砂圧送管は含まれておりません。</li>   <li>・ 水中掘削残土の置き場として計上しております。借地の場所と現場事務所については、請負者の方々で手配をお願いいたします。</li>   <li>・ シールド掘削土は、ズリ鋼車で搬出してあります。</li>   <li>・ よろしいです。</li>   <li>・ 積算上は、地山の強度で急曲線を曲がれる為、補助工法は計上しておりません。また、分岐部はセグメント直接掘削方式と坑口としており、補助工法は必要ないと考えておりません。</li> </ul>
---	--

<p>1 0. 補助工法及び観測孔設置等の施工の 為、新潟港横越線他の道路専用は可能 でしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可能です。</li> </ul>
<p>1 1. 今回工事で行った地質調査報告書 (詳細データが記載された資料) の 貸出し、又は閲覧は可能でしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご希望により、半日貸し出しいたします。(9時～13時・14時～17時)、ご希望の方は、12月20日午前中迄に、025-226-2217へご連絡ください。貸し出し順については、こちらで調整させていただきます。 尚、20日午後以降も貸し出し希望をお受けしますが、ご希望に添えないこともあります。 ※貸し出し依頼書(任意様式)を提出していただきます。(会社名・社印・必ず時間通りに返却すること・差し替え等しないことを記載してお持ちください。)</li> </ul>
<p>1 2. シールド工事掘削残土処理の取り扱いについて、お伺いいたします。 イ. 処分は、自由処分でしょうかまたは指定地処分でしょうか。 ロ. 普通残土でしょうかまたは産業廃棄物でしょうか。 ハ. 夜間運搬は可能でしょうか、不可能な場合仮置き場所はどのように考えたら宜しいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別途工事現場で使用予定ですので、親松仮置場までの運搬費を計上しております。</li> <li>・ 夜間搬出は不可能です。ヤードの中で対応をお願いいたします。</li> </ul>
<p>1 3. No.1, No.2 立坑について 1) 立坑施工は、2ヶ所共昼間施工とするのでしょうか。 2) 上空架線及び地下埋設物の切廻しは、市の費用で行うのでしょうか。 3) 残土処分は、親松ストックヤード・改良土製造プラントに搬出しますが、それぞれの搬出数量をお教え願</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2ヶ所とも昼間施工です。</li> <li>・ 市の費用で行います。</li> <li>・ 積算上は、親松仮置場へ全量運搬しております。また、残土は別途工事で埋め戻し土に利用しております。</li> </ul>

<p>います。又、ストックヤードへ搬出した残土はその後どの様に処分するのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ N01, 2 立坑では、改良土を使用しておりません。</li> </ul>
<p>1 4. No.3 到達立坑について</p>	
<p>1) 上空架線及び地下埋設物の切廻しは、市の費用で行うのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の費用で行います。</li> </ul>
<p>2) シートパイルは継材になるのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継材では、ありません。</li> </ul>
<p>3) 残土処分は、親松ストックヤード・改良土製造プラントに搬出しますが、それぞれの搬出数量をお教え願います。又、ストックヤードへ搬出した残土はその後どの様に処分するのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積算上は、親松仮置場へ全量運搬しております。また、残土は別途工事で埋め戻し土に利用しております。</li> <li>・ 改良土プラントには、埋め戻し土として使用するだけの量の搬出となります。</li> </ul>
<p>4) 立坑施工は、昼間施工とするのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昼間施工です。</li> </ul>
<p>1 5. シールド一次履工について</p>	
<p>1) シールド工により発生する泥土処分は、産業廃棄物として自由処分するのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別途工事現場で使用予定ですので、親松仮置場までの運搬費を計上しております。</li> </ul>
<p>2) セグメントは、下水道協会認定工場で作成するのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その通りです。</li> </ul>
<p>1 6. その他</p>	
<p>1) 沿道家屋調査は、何軒を予定しているのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家屋調査は、立坑周りのみで11軒を予定しております。</li> </ul>
<p>2) 分岐工事に伴う特許料は、どの様にお考えでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直接掘削セグメント、シールド機の本体価格に含まれております。</li> </ul>
<p>3) 積算機材一覧表をご提示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計書でご確認をお願いいたします。</li> </ul>
<p>4) 積算工程表をご提示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な工程表は公表しておりません。</li> </ul>
<p>5) 木戸貯留施設ポンプ場について参考図には1次施工の明記がされていますが、2次施工はございません。2次施工については、考慮しなくても</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積算基準に基づき必要日数を算出し工程表を作成しております。</li> <li>・ 考慮しなくてよろしいです。</li> </ul>



よろしいのでしょうか。	
-------------	--

## 質 疑 回 答 書

- 1 工事番号 東下第45号  
2 工事名 木戸排水区雨水貯留施設築造工事

上記工事につきまして質疑事項がありましたので、下記のとおり回答いたします。  
(本案件は、電子入札ではありませんので、全業者にFAXいたします。)

質 疑 事 項	回 答
1 設計書—工種明細表第14号に家屋調査が計上されていますが、事前事後実施との解釈でよろしいでしょうか。	・家屋調査は、事前調査のみ計上しております。
2 NO.1 立坑作業工図(1) (図面番号C/179) 記載の工事用車両出入口箇所に高木(桜)が2本が支障かと思いますが、NO.1 立坑付帯工図(1) (図面番号C/173) や設計書に数量計上がされていません。取扱についてご教授願います。	・桜の移設については、別途発注を行う予定です。
3 NO.1 立坑作業工図(1) (図面番号C/179) 記載の工事用車両出入口箇所に電柱支線が支障なると思いますが、取扱についてご教授願います。	・電柱支線については、NO1 立坑着手前に物件移転依頼を管理者に提出し移設する予定です。
4 設計書—工種明細表第19号の借地料200m <sup>2</sup> が指している箇所、内容についてご教授願います。	・水中掘削残土の置き場として計上しております。借地の場所については、請負者の方々で手配をお願いいたします。
5 設計書—工種明細表第3号、4号記載の発生土処理において、ダンプトラック運搬距離が0.5kmとありますが、具体的運搬場所についてご教授願います。	・水中掘削残土の置き場として計上しております。借地の場所については、請負者の方々で手配をお願いいたします。

<p>6 設計書—工種明細表第3号、4号記載の発生土処理において、ダンプトラック運搬距離が0.5kmとありますが、運搬場所を請負者が調達する場合、借地料の取扱についてご教授願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>借地料については、設計図書に計上してあります。</li> </ul>
<p>7 NO.2立坑作業帯図（図面番号C/181）記載の作業エリアの使用可能時期をご教授願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の進捗状況によりませんが、H21年度以降と考えております。</li> </ul>
<p>8 NO.2立坑作業帯図（図面番号C/181）記載の作業エリアにおける工事期間中の借地料の費用発生は無いとの解釈でよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事期間中に借地料は発生すると考えております。また、借地料については、別途発注を行う予定です。</li> </ul>
<p>9 NO.2立坑作業帯図（図面番号C/181）記載の作業エリアにおける工事期間中の借地料の費用発生がある場合、その期間をご教授願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の進捗状況によりませんが、H21年度～22年度までと考えております。</li> </ul>
<p>10 NO.2立坑作業帯図（図面番号C/181）記載の作業エリアは現状、駐車場として利用されているようですが、代替駐車場手当等を含めて、施工前段階での請負者側で実施しなくてはならない具体的内容についてご教授願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代替駐車場については、本工事請負後に別途発注を行う予定です。</li> </ul>
<p>11 工事の詳細検討を実施する上で、図面C6～20記載の土質ボーリング（NO.1～NO.17）の詳細土質調査報告書等をご提示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご希望により、半日貸し出しいたします。（9時～13時・14時～17時）、ご希望の方は、025-226-2217へご連絡ください。 尚、積算期間等で、ご希望に添えないこともあります。 ※貸し出し依頼書（任意様式）を提出していただきます。（会社名・社印・必ず時間通りに返却すること・差し替え等しないことを記載してお持ちください。）</li> </ul>

<p>12 図面番号 C/172 の杭材は別途とありますが、本工事に含まれる範囲（材料、施工）をご教授願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料は杭材も含め数量計上してありますので本工事に含まれます。防音壁材料と杭材を分ける意味で図面上、別途と記載しています。</li> </ul>
<p>13 NO.1 立坑（発進基地）の防音パネル設置開始時期は、当該箇所での施工開始（発進立坑 NO.1 構築）前でよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計上は、シールド工事開始前に設置します。</li> </ul>
<p>14 図面番号 C/53 記載のφ1000（FRPM）は本工事に含まないとの認識でよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・φ1000（FRPM）は、 ・落差工に計上しております。</li> </ul>
<p>15 NO.3 立坑における埋戻しにおいて、以下の項目についてご回答願います。</p> <p>① 埋戻しですが、数量計算書等は「発生土」と記載されていますが、設計書には「土質改良土」とあります。どちらが正かをご教授願います。</p> <p>② 「土質改良土」の場合、仕様について指定があるかご教授願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋戻し土は、発生土を改良プラントに持ち込み改良土として使用します。</li> <li>・特記仕様書に記載してありますので、ご確認ください。</li> </ul>
<p>16 NO.1、2 管理人孔の水中コンクリートですが、数量計算書には 30-18-20(25)と記載されています。また、設計書では、24-8-25BB W/C≤55%と記載されています。打設するコンクリートの配合設計をご教授願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NO1、2の圧入ケーソン立坑工の底版コンクリート打設工は水中コンクリート 30-18-20 で計上しており、底部コンクリートは 24-8-25 で計上しております。</li> </ul>
<p>17 NO.3 立坑築造時に切回す埋設管のうち、ガス、水道の切回しは本工事に含まないとの考えでよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのように考えてください。</li> </ul>
<p>18 本工事範囲に含まれない NO.2 管理人孔に接続するφ1000 の換気管等の施工内容と時期についてご教授願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気管布設工事は、本工事完了後に別途発注予定です。</li> </ul>

<p>19 設計図において C/47～C/50 は「参考図」との記載が有りませんが、取扱についてご教授願います。(C/47～C50 は図面通りの寸法・仕様を要求されているのでしょうか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 参考図として取り扱ってください。</li> </ul>
<p>20 「建設副産物特記仕様書」3. 建設発生土の搬出に「改良土製造プラント」受入費用 500 円/m<sup>3</sup> とありますが、本工事設計書にこの受入費用が計上されていません。「受入費用」は本工事に含まれないとの解釈でよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 土質改良土の中に含まれております。</li> </ul>
<p>21 ケーソン掘削残土等は「親松ストックヤード」、シールド残土は「改良土製造プラント」に運搬するとの認識でよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 設計上、ケーソン掘削残土、シールド残土は親松仮置き場に運搬します。</li> </ul>
<p>22 設計図の殆どが「参考図」と記載されていますが、図面記載内容を厳守しなければいけない範囲をご教授願います。(例えば、発進立坑躯体寸法、各種鉄筋配筋図の変更他)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 特記仕様書にも明記してありますが、参考資料は、請負契約上の拘束力を生じるものではありません。請負者が施工条件、地質条件等を十分に考慮して、仮設、施工方法、安全対策等工事目的物を完成させるための一切の手段について請負者の責任において定めることとなっております。 (22, 23)</li> </ul>
<p>23 参考図の取扱について、参考図を変更する場合、遵守しなければいけない範囲や具体的な制約をご教授願います。</p>	
<p>24 発進立坑躯体構造物の寸法の変更は可能でしょうか。可能な場合、以下の内容についてご教授願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 図面記載構造物の寸法等、確保内容をご教授願います。(例えば、内空断面)</li> <li>④ 変更可能な場合、設計変更の対象となるでしょうか。</li> <li>⑤ 変更するに当たり、制約条件はありますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 発進立坑は、ポンプ場施設として計画しているため、ポンプ施設の設置できる内空断面の寸法、形状となっております。</li> </ul>

<p>25 特記仕様書、3-4. シールド工に 5,000mm シールド坑内から内径 2,400mm のシールドを発進すると記載されていますが、NO.3 到達立坑から 2,400mm のシールドを発進する事は可能でしょうか。</p>	<p>・特記仕様書の通りですが、契約後、現場条件に変更があれば、変更協議の対象となります。 (25, 26, 27)</p>
<p>26 特記仕様書、3-4. シールド工に 5,000mm シールド坑内から内径 2,400mm のシールドを発進すると記載されていますが、2,400mm のシールド掘進沿線上に発進立坑を追加設置して発進する事は可能でしょうか。</p>	
<p>27 25. の場合、立坑寸法の変更が伴いますが、寸法変更が可能である場合、制約条件をご教授願います。(地下埋設物の移設取扱、作業時間帯、道路占用他)</p>	
<p>28 施工計画等を検討するに当り、NO.1、2 管理人孔、NO.1 発進立坑躯体の構造計算書を確認したいのですが、閲覧等ご提示可能でしょうか。</p>	<p>・ご希望により、半日貸し出しいたします。(9 時～13 時・14 時～17 時)、ご希望の方は、12 月 27 日 9 時～12 時迄に、025-226-2217 へご連絡ください。貸し出し順については、こちらで調整させていただきます。</p>
<p>29 入札時の提出内訳書は、設計書に準拠して作成すると認識していますが、請負者の施工検討の結果、設計書記載数量が変更となる場合でも、提出内訳書は設計書記載数量と一致させる必要があるかを</p>	<p>尚、27 日午後以降も貸し出し希望をお受けしますが、積算期間等で、ご希望に添えないこともあります。 ※貸し出し依頼書(任意様式)を提出していただきます。(会社名・社印・必ず時間通りに返却すること・差し替え等しないことを記載してお持ちください。)</p>
<p>29 入札時の提出内訳書は、設計書に準拠して作成すると認識していますが、請負者の施工検討の結果、設計書記載数量が変更となる場合でも、提出内訳書は設計書記載数量と一致させる必要があるかを</p>	<p>・提出する内訳書は、設計図書記載数量と一致させてください。</p>

<p>ご教授願います。</p> <p>30 図面番号 C/2～C/5、C/101～C/121 がご提示頂いた図面から抜けているのですが、本工事には関連がないのでしょうか。(本工事において欠番でしょうか) また、本工事に関連するのであれば、ご提示願います。</p> <p>31 入札時の提出内訳書は設計書記載数量と全て一致させる必要はありますか。 新潟県共通仕様書にはシールド機の工場検査実施のみの記載がありますが、本工事において、シールド機の工場検査、セグメントの工場仮組検査は必要でしょうか。その場合、工場検査に発注者が立会かをご教授願います。</p> <p>32 発進立坑作業ヤード予定地の家屋および電柱が支障となります。撤去の時期についてご教示願います。</p> <p>33 No.1 および No.2 立坑の掘削土はL=0.5km 以下の仮置き場へ運搬することとなっておりますが、仮置き場の広さと場所および使用可能期間についてご教示願います。</p> <p>34 No.1 立坑付近にはレストランなどが近接しております。「騒音」「振動」に対する影響範囲はどのようにお考えでしょうか。ご教示願います。</p> <p>35 No.2 立坑作業ヤードの使用可能期間をご教示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 図面番号 C/2～C/5、C/101～C/121 は、本工事と関係ございません。</li> <li>• 提出する内訳書は、設計図書記載数量と一致させてください。</li> <li>• シールド機の工場検査、セグメントの工場仮組検査は必要です。</li> <li>• 工場検査は立会いを行います。</li> <li>• H20. 5月を予定しております。</li> <li>• 仮置き場の広さは、200 m<sup>2</sup>となっております。また、使用期間については、N01,2 立坑の設置完了までとなっております。</li> <li>• 場所については、請負者の方々で手配をお願いいたします。</li> <li>• 当該工事は、設計上、振動の少ない工法を使用しております。また、シールド掘削時は昼夜施工と言うことで騒音に対して防音壁設置工を計上しております。</li> <li>• 工事の進捗状況によりますが、H21年度～22年度までと考えております。</li> </ul>
--	---

<p>36 No. 3 到達立坑の作業帯図では「鍋五建材」店頭と隣の駐車場出入り口が使用できなくなります。代替の出入り口と駐車場が必要となりますが、どのような対策をお考えかご教示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 代替入り口及び駐車場については、必要があれば本工事請負後に別途発注を行います。</li> </ul>
<p>37 No. 3 到達立坑付近の架空線が支障物となります。撤去の時期をご教示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 架空線については、N03 立坑着手前に物件移転依頼を管理者に提出し移設する予定です。</li> </ul>
<p>38 発生土処理は建設副産物特記仕様書によると「親松ストックヤード」への発生土運搬となっておりますが、整地費およびストックヤードの管理費は不要と考えてよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 親松仮置き場の整備費、管理費は不要です。</li> </ul>
<p>39 同上「親松ストックヤード」は祝日及び休日の運搬は可能でしょうか。ご教示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 祝日、休日は、運搬は不可能です。</li> </ul>
<p>40 同上「親松ストックヤード」は搬入する土砂性状に制約条件がございますか。ご教示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現況調査内の土質については搬入できます。</li> </ul>
<p>41 施工内訳表（頁 0-0009, 0100）でシールド工の発生土運搬工に固化材として高分子 3kg/m<sup>3</sup> が計上されていますが、攪拌方法とストック場所が明示されていません。ご教示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バック杓による攪拌となっております。ストック場所は土砂ピット内でストックしてください。</li> </ul>
<p>42 シールド工の発生土運搬工において、高分子固化材を添加してもダンプ運搬が不可能である場合には、どのような対策をお考えでしょうか。ご教示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 可能だと考えております。現場条件等に変更が生じた場合変更対応いたします。</li> </ul>
<p>43 特殊マンホール工(No. 1)で、工種明細表(頁 0-0051～0052)に記載されている水密扉の構造・材質および仕様についてご教示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水密扉の構造、材質は下記の通りです。 SS400 形状：B1000×H1200 設計水深 4.2m</li> </ul>



<p>44 道路植栽撤去復旧工の移植工で、仮置き場までの運搬距離を教えてくださいませんか。</p> <p>45 移植後の維持管理費は別途と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>46 特殊マンホール工（No.1）の水密扉の材質は、SS400 と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>47 シールド工事、分岐部における後方部の防護工が御座いませんが、必要が生じた場合協議事項として頂けますでしょうか。</p> <p>48 特記仕様書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設発生土の搬出先として2箇所指定されています。</li> </ul> <p>設計書 10P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シールド掘進工の発生残土は親松スクラップへ搬出</li> </ul> <p>設計書 30P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立坑掘削工の発生残土は親松スクラップへ搬出</li> </ul> <p>設計書 48P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高圧噴射攪拌工の汚泥処理は改良土製造プラントへ搬出</li> </ul> <p>設計書 177P</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立坑掘削工の濁水処理より発生するスライムは改良土製造プラントへ搬出</li> </ul> <p>以上の考えでよいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>49 設計書 43P</p>	<p>形状：B1500×H2200 設計水深 13.7 共に受け枠を含んだ形状です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移植工の仮置き場までの距離は、7.5km となっております。</li> <li>・ 移植後の維持管理費は、別途発注を行う予定です。</li> <li>・ その通りです。</li> <li>・ 積算上は、地山の強度で急曲線を曲がれる為、補助工法は計上しておりません。また、現場条件等に変更があれば、変更協議の対象となります。</li> <li>・ シールド掘進工の発生残土、立坑掘削残土は親松スクラップへ搬出となります。</li> <li>・ NO3 立坑の埋戻土は改良土プラントには使用するだけの量を搬出となります。</li> <li>・ 高圧噴射攪拌工の汚泥処理は産廃処分となります。</li> <li>・ 立坑掘削工の濁水処理より発生するスライムは産廃処分となります。</li> <li>・ 改良土は、プラントからの購入となります。</li> </ul>
--	---

<p>N03 立坑の「土質改良土 受入れ販売」は、上記改良土製造プラントよりの購入となるのでしょうか。ご指示ください。</p> <p>50 下記工事用排水の放流先および下水道料金の必要の有無をご指示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計書 18P シールド水替工の排水は、もよりの街渠へ排水。下水道料金不要。</li> <li>・ 設計書 18P N01 立坑の濁水処理工の排水は、もよりの街渠へ排水。下水道料金不要。</li> <li>・ 設計書 42P N02 立坑の濁水処理工の排水は、もよりの街渠へ排水。下水道料金不要。</li> <li>・ 設計書 42P N03 立坑の水替えの排水は、もよりの街渠へ排水。下水道料金不要。</li> </ul> <p>以上の考えでよいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>51 設計書 108P 反力壁の撤去に伴うコンクリートがらの処分先は、指定なしでしょうか。ご指示ください。</p> <p>52 設計書 63P 廃プラスチック処理の処分先は、指定なしでしょうか。ご指示ください。</p> <p>53 設計図の図面番号 C/2～C/5 および C/101～C121 については、欠番と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>54 工事期間中の休業日は、シールド工事およびその他の工事（明かり工事）で月当たり標準でどのくらい見込まれているのでしょうか。</p>	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事用排水については、特記仕様書にも記載してあるとおり、請負者の責任により、関係法規に基づいて適切に排水を行ってください。下水道工事使用水については、料金不要と考えておりますが、現場条件等に変更があれば変更協議の対象となります。</li> <li>・ 設計上は、最寄の処分地となっております。特に指定はしておりません。</li> <li>・ 設計上は、最寄の処分地となっております。特に指定はしておりません。</li> <li>・ よろしいです。</li> <li>・ 土日祝日を休日と考えております。</li> </ul>
---	---

<p>55 発進ヤード内の建物の撤去が平成20年5月頃となっており、工期が平成23年3月7日までとなると、非常に厳しい工程と考えられますが、今回の工事内容すべてが工期内に終わる設計となっているのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工期内で竣工する設計になっております。</li> </ul>
<p>56 事前調査では可燃性ガスの発生は無いとされていますが、施工中に確認された場合、可燃性ガス対策については設計変更対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場条件等に変更があれば、変更の対象となります。</li> </ul>
<p>57 シールド掘進の残土搬送については、φ5000、φ2400ともズリ鋼車方式で計上されているのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その通りです。</li> </ul>
<p>58 建設発生土について、江南区鶉ノ子の改良土製造プラントに搬出する場合、受入れ費用(500円/m<sup>3</sup>)は請負者負担となるのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土質改良土の中に含まれております。</li> </ul>
<p>59 建設発生土(シールド掘進による発生土)の受入れ基準(改質基準)についてご提示願いたいのですが。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況調査内の土質については搬入できません。</li> </ul>
<p>60 シールド掘削土の改質材について、セメント系または石灰系材料を使用しても性質上問題ないでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題はないと考えておりますが、残土は別の工事現場で使用予定ですので、請負後に協議が必要です。</li> </ul>
<p>61 セグメントについて、継手のタイプが指定されていますが、機能性能が同等であれば、相当品による代替施工も可能と考えてよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同等品以上であれば特に問題はないと考えております。</li> </ul>
<p>62 セグメントは、機能性能が証明されれば「日本下水道協会規格」認定品以外のもの(規格には準拠しているもの)を使用することは可能でしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本下水道協会認定品を使用してください。</li> </ul>

<p>63 セグメント間目地のコーキングについて仕様、数量の規定がありませんが、コーキングは本工事の範囲外と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>また、セグメントにコーキング溝は必要でしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平面円滑型、ボルトレスセグメントであり、考慮していません。</li> </ul>
<p>64 シールド機の残置について、外周スキンプレート、テールプレート並びに強度上必要なリブのみの残置と考えてよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• その通りです。</li> </ul>
<p>65 φ5000mm およびφ2400mm の同時掘進について、工程が間に合えばφ5000mm 到達後にφ2400mm を掘進してもよいと考えてよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 設計上では、同時掘進で設計しておりますが、工期的に可能であれば、問題ありません。</li> </ul>
<p>66 新素材切削壁（素材 FFU74）について、機能性能が同等であれば、相当品による代替施工も可能と考えてよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 同等品以上であれば特に問題はないと考えております。</li> </ul>
<p>67 地盤改良工について、要求仕様、改良範囲を満足すれば、施工方法の変更（改良径拡大による本数減や二重管ストレーナ複相式の変更など）は可能と考えてよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現場条件等に変更があれば、変更協議の対象となります。</li> </ul>